

2026年7月8日

各 位

テイカ株式会社

## 日刊工業新聞への記事掲載及び

### 当社の医療・圧電関連事業における成長戦略について

日刊工業新聞（7月8日（水）発行）に、当社の医療・圧電関連事業の成長戦略に関する記事が掲載されました。

つきましては、当社の本事業における市場環境や今後の展望は以下のとおりですので、ご参照ください。

#### 1. 本事業を取り巻く市場環境

医療現場における画像診断装置において、X線やコンピューター断層撮影装置（CT）、磁気共鳴断層撮影装置（MRI）と比較し、人体への影響が少ない「超音波診断機」は、世界的に堅調な需要が続いています。

その超音波診断機に欠かせない圧電材料については、検査用途を中心に今後も底堅い需要が見込まれています。さらに近年は、より鮮明な画像が得られる高解像度領域の拡大に伴い「圧電単結晶材料」の需要が急速に高まっています。

#### 2. 本事業での当社の強みと安定供給への取り組み

圧電単結晶材料の育成・加工は、非常に高度な技術が求められますが、当社は日米2拠点でインゴット育成から加工まで、同一品質の一貫生産体制を確立しており、お客様が求める多様な仕様に柔軟かつ高品質に適應できる強みを有しております。

この日米2拠点体制の強みを活かし、昨今の地政学リスクやグローバルなサプライチェーンの課題にも柔軟に対応しつつ、安定供給とさらなる成長へ向けて、当社は新規設備の導入や工程全体の最適化など、生産体制の高度化に向けた取り組みを推進しております。

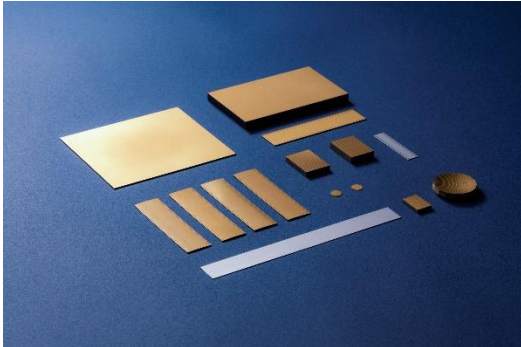
#### 3. 本事業の今後の成長戦略

当社は、中期経営計画「MOVING-10 STAGE 3」において、本事業の2029年度の売上高を2025年度比約40%増の60億円とする目標を掲げております。今後も圧電単結晶材料を中心に約20億円の投資を行い、歩留まりの向上と生産能力の増強を推進することで、市場におけるシェア拡大と医療社会への貢献を目指してまいります。

---

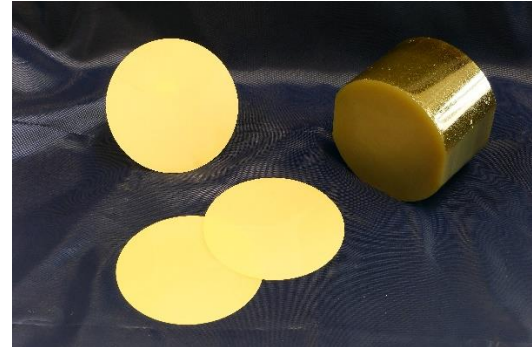
## <ご参考>

### 1. 外観



#### 圧電セラミックス材料

- ・結晶中にランダムな結晶方位をもつ
- ・原子の種類により高い圧電性が得られる
- ・様々な特性用途に対応できる豊富な材料  
ラインナップ



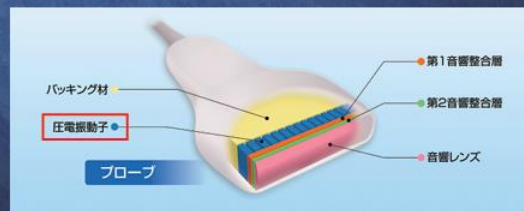
#### 圧電単結晶材料

- ・結晶粒の結晶方位がどの位置でも揃っている
- ・特定の結晶方位では圧電セラミックス材料以上の  
大きな圧電性が得られる
- ・より高精度、高精細な画像を実現

### 2. 主な用途

## ♪ 日常生活で活躍している圧電材料 ♪

エコー検査に使われる医療用超音波診断機は、発生した超音波から画像を映し出すことで、エックス線などは使わず、体の中を安全に調べることができます。妊婦検診や心臓・腹部等の診断で多く使われています。テイカグループの圧電材料は超音波を発生させる役割と、反射してきた超音波を受けてそれを電気信号に変換する役割をほぼ同時に行うため、プローブにおける最重要部品に位置付けられています。



以上